



さが葉がとれ

ライオンズクラブ会報



We Serve

国際会長テーマ

L JAMES, T. COFFY

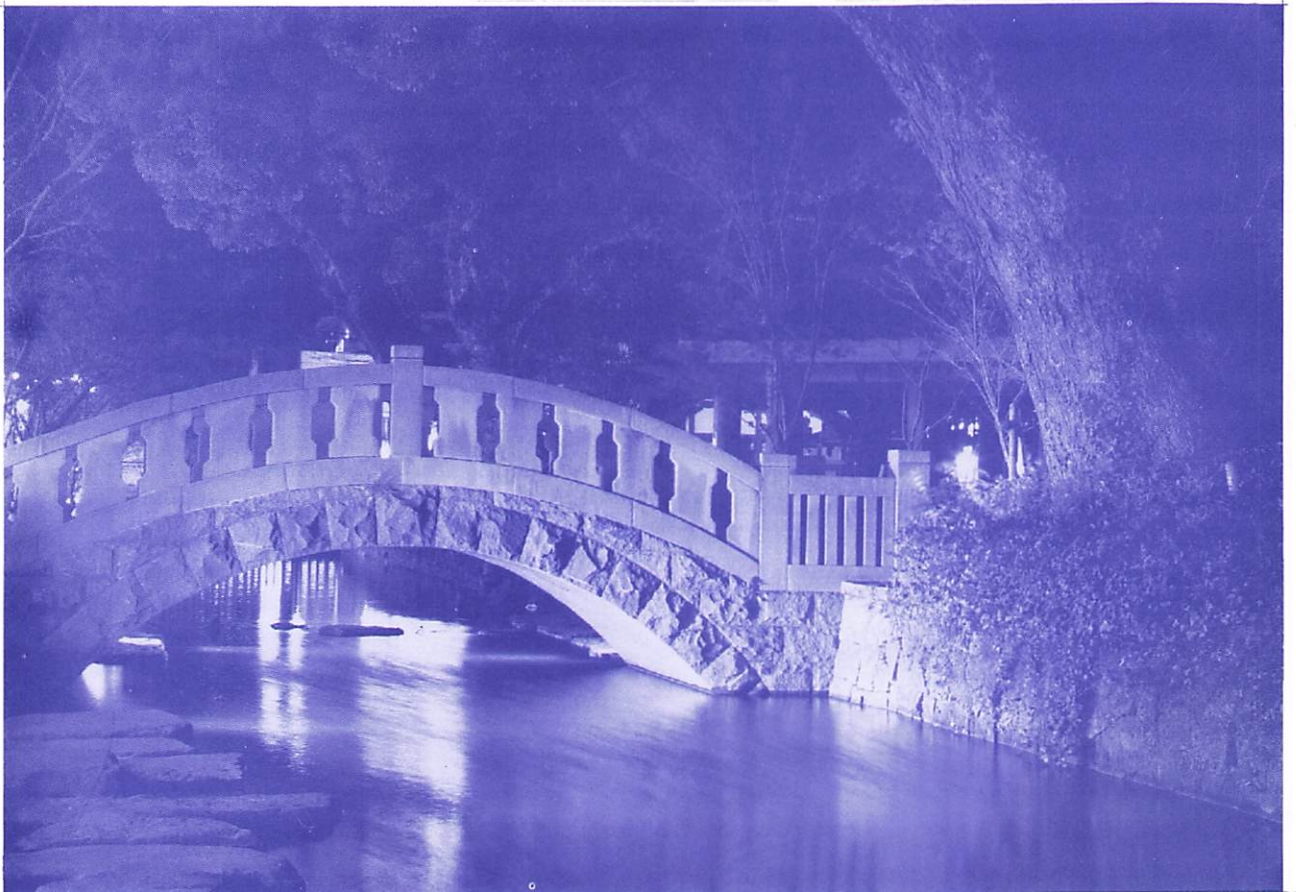
「われわれは奉仕する」

ガバナー提言

L 溝口 茸雄

「友情と奉仕で明るい社会を」

1994年6月 No.59



会長スローガン

L 南部 重平

「感謝の心で豊かな奉仕を」

地区運営方針と目標 ガバナー L溝 口 苺 雄

1. LCIF視力ファーストキャンペーン推進
2. 会員増強とエクステンションの推進
3. 委員会の活性化と楽しい例会づくり
4. 地区クラブ運営の合理化と簡素化
5. 青少年の健全育成と三献事業の推進
6. 環境保全と緑化運動の推進

クラブ運営の方針 第24代会長 L南 部 重 平

1. 全員出席で楽しい例会
2. 青少年の健全育成
3. LCIF (視力ファーストキャンペーン推進)



会 報 誌

1994年 6 月
No.59



目 次

第40回地区年次大会報告……………	2
年次大会当クラブ活躍……………	3
◇ 親善ゴルフ大会……………	4
アクティビティー……………	5
特別 寄稿パラオの旅……………	8
L 深 町 達 次	
特集 函館紀行（2）……………	10
L 江 頭 寛 治	
スナップ……………	12
新入会員紹介……………	14
第24代執行部よりのメッセージ…	15

表紙写真

清流松原川カッパのお宿にかかる石橋
夜 8 時撮影

337-C地区 第40回年次大会

日時/1994年4月24日
場所/佐賀市文化会館
司会/大会副幹事 L 嬉野 啓



大会会場正面



年次報告をする
ガバナーL 溝口 茸 雄



佐賀西LC女性会員に囲まれ入場するガバナーL 溝口夫妻



船出も勇ましいガバナーエレクトL 川尻康平の入場

337-C地区 第40回年次大会

◎当クラブの活躍！！

※昼食弁当、売店部会

部会長 L 深町達次

用意する弁当の数はキャビネットからの指示は1000個でしたが、部会長以下委員の検討会では1,100個用意することとなり、L松本の協力を依頼しました。L野口の経験とご努力が後々大きく作用することとなります。当日食べて頂いた参会ライオンの多くの方々から、今日の弁当はおいしかったよと喜んで頂きました。L野口の試食2回に及ぶ業者への注文指示等細かい配慮がこの結果を生み、音楽隊への人2食分支給等あり最終的には30個ほどの不足となりました、キャビネットの指示通り用意していたら大変なことになったことなのでしょう。部会各委員のご協力のお陰で大成功に終わりました。



1,100個の弁当を会場でライオンに1人ずつ手渡しする！



会場ロビーでの売店風景



祝賀会で また逢う日まで

337-C地区 第40回年次大会親善ゴルフ大会

参加者 L 166名

(ハンディはダブルペリア方式)

日時/1994年4月25日

場所/武雄カントリークラブ

実行委員長/ L 本田 茂 昭

当日(4月25日)は、武雄カントリークラブは定休日でしたが、L本田、L宇田川の事前交渉で貸切り、クラブは全員出社の協力を頂きました。このホストは準備段階から大変なボリュームのある仕事ですが、委員会の開催2回、出場者の把握と組合せの作成、予算組み、各賞の設定と商品の決定配分、そして仕入の交渉等準備に委員の皆様方のご苦勞は大変でした。当日は午前7時30分会場集合の上各々配置につきました。特にL南部会長以下プレーをなさらないサポートご協力のL野口、L西津、L野中に深謝申し上げます。当クラブの成績は下記の通り入賞続出で少し他のクラブの方々に申し訳ないような結果でした。



ゴルフ大会で優勝したL石井が一言と
優勝者のスピーチ!

第40回年次大会親善ゴルフ大会成績一覧表

氏名	OUT	IN	合計	HD	NET	順位
石井 要	43	46	89	19.2	69.8	1
宇田川 寛一	39	37	76	6.0	70.0	2
江頭 寛治	43	44	87	14.4	72.6	25
島 勇	40	46	86	13.2	72.8	30
野口 昌喜	45	54	99	24.0	75.0	76
吉田 和義	46	47	93	18.0	75.0	78
宮田 洋三	47	45	92	16.8	75.2	81
津田 平輔	46	48	94	18.0	76.0	93
原 晴巳	51	57	108	30.0	78.0	122
小部 功	51	47	98	19.2	78.8	128
本田 茂昭	51	52	103	24.0	79.0	130
三原 巳子樹	50	55	105	24.0	81.0	144
於保 ツル子	57	62	119	36.0	83.0	154
安永 栄助	66	57	123	36.0	87.0	159

準優勝したL宇田川
笑顔の受賞!

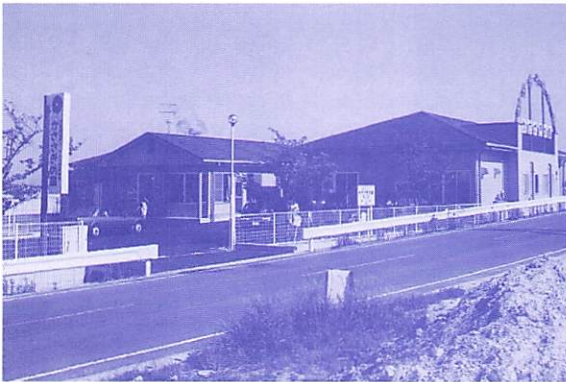


※ベストグロス賞は
当クラブよりL宇田川が受賞しました

アクティビティ

◇かささぎの里へロッカー購入資金30万円の寄贈！！

社会福祉法人かささぎ福祉会（略称かささぎの里）は牛島国枝女史のご努力で昨年9月発足し県内唯一の身障者の社会復帰へ向けてリハビリを兼ねた職業指導の施設です。落成式は4月29日、定員は30名、職員は10名、送迎車3台、敷地3,771m²、建物618m²、現在はパン製造技術の指導（男子）、女子は雑巾作りの軽作業から、ラヌスペーサー（ガケ崩れ防止用ネット部品）製造を皆で楽しく真剣に頑張っておられます。当クラブの姉妹クラブ函館東ライオンズクラブよりのドネーション20万円と当クラブより10万円を落成に際し、ロッカー購入資金として贈呈致しました。男、女更衣室に整備してありました。



社会福祉法人かささぎ福祉会の全景



製パン製造技術の習得に励む入所者たち！

◇レオ諸君と街頭募金で大野木場小学校へ レオ委員会委員長 L 石崎

本年度の事業も長崎普賢岳義援金の街頭募金となり、12月12日早朝より、レオ諸君8名と執行部も協力して、佐賀玉屋前の街頭に立ち道行く人に募金を訴えました。その結果、目標額を達成し（総額¥112,672）島原深江町大野木場小学校へ持参し、校長高柳忠昭先生より感謝状を頂きました。



佐賀市玉屋前で募金活動のレオの諸君！



レオの活躍に応じてくれる一般の皆様方！
会長L南部、委員長L石崎も一緒に頑張る！

◇歳末青少年街頭補導！

教育委員会委員長 L 宇田川

恒例年末青少年街頭補導を12月21日午後8時より行いました。会員多数の参加を得て佐嘉神社角派出所前に集合し警察官のご協力を得、繁華街の街頭巡回を行いました。幸いにも今回は街頭で補導等の事案はなく無事終了致しました。それにしても佐賀ん町の商店街の夜8時～9時の何と人通りもなく寒々たるものが、そのことの方が余程印象に残り商店補導の方が先ではないかと思われました。



街頭少年補導に出発前

◇佐賀コロニー本年度卒業生へ記念品と施設へテレビを贈る

佐賀コロニー本年度卒業式において卒業生への記念品及び施設へテレビジョンの贈呈をいたしました。3月25日卒業生男子6名、女子1名が社会へ巣立ちました。就職者の激励式へ出席し身体に多少のハンディーを持ちながら研鑽を重ね晴れて社会の荒海に飛び込んで行く子供達に栄光あれと祝福致しました。



卒業生へ記念品の贈呈

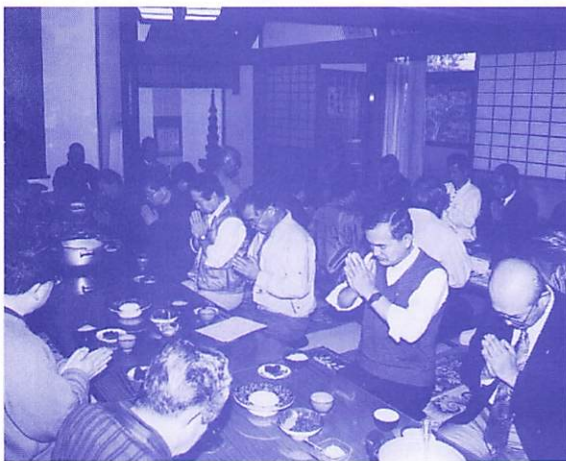
◇曹洞宗 宗龍寺の早朝清掃奉仕

H 6 . 4 . 8

4月8日早朝例会は清掃奉仕でした。広大な境内の清掃は草むしり、落葉集めと全員協力して奉仕に務めました。終了後、大法丈の説話を聴き別間で茶粥の接待を受けました。丁度4月8日は御本尊お釈迦さんの誕生日に当り花祭りと甘茶の御奉仕を受けることが出来ました。飛び込んできたのが、L福田の戦艦大和の最後の日の話でした。何時の日か我々が忘れかけている時、あの世界最大の戦艦大和が万余の若人と共に1発の砲弾を発射することもなく領海内で海底の漁礁と化した悲劇の其の日が今日であったことを教えられました。



宗龍寺 本堂前にてライオン全員集合！



合掌 茶粥に礼拝



清掃奉仕の掃く人、拾う人、指図する人

そして ポーッと見よる人！

特別寄稿

パラオの旅

L 深町達次

やや旧聞の嫌いはありますが、忘れえぬ思い出の旅として記すこととします。私たちにとってパラオ（Palau）という地名は幼き頃の郷愁を誘い出す地名として今日も尚頭の隅に生き続けて居ります。戦前このミクロネシアは、パラオ諸島を含めて日本の委任統治領であり統治の中心となる南洋庁がこのパラオの首都コロール島に定められパラオ全住民の3倍にも当たる4万人の日本人官民が居住し南洋諸島を治め、農林業、水産業共に日本の南方資源の貴重な供給源となっていたのです。

1992年現地人ウエキミノル氏との出会いが私をこの夢の島パラオへ誘い出してくれました。戦後日本人が全て引き揚げてしまった後全島の産業は全て消滅してしまいましたがアメリカの信託統治から離れ政治的にも独立する為には経済的自立も亦両輪の要として重要だったのです。日系人も多数現存する中でこのウエキミノル氏は戦時中の関係で佐賀へ来られ農機具（中古品）の買い付けなどパラオの産業開発の為苦勞しておられることを知りました。

丁度私は諸富経済同友会の代表理事をしておりました関係で何とか協力する方法はないかと考え同友会メンバーは勿論、有志に図りチャリティーバザーを開き善意の資金約40万円を用意することができました。

10月12日 出発です。同友会西村事務局長と共にコンチネンタル航空でグアムへ飛びました。人口1万5千のパラオ共和国の首都コロールには直行便はありません。グアムで1泊。翌13日の朝、又小さな飛行機に乗換え1時間30分南海の小島を目指しました。空港には大統領専用車リンカーンが私たちを出迎えてくれましたが、飛行機を降りた途端ウワツと熱風にさらされたような南方独特の熱さに驚きましたが、政庁でいろいろ説明を聞きますと年間の平均気温が27℃で高温多湿、降水量は年間3,700mm（ちなみに佐賀の平均降水量は1,800mm）、ただ5月～10月は南西風、11月～4月は北東風が強く木陰の休息は楽園を思わせるものの様でした。

ウエキミノル氏の案内で早速大統領の事務室で大統領Mr. Ngiratkeliに博物館建設計画の一助にとアメリカ\$2,500のドネーションを差し上げ大変感謝されました。（後日丁寧な公式感謝状を戴きました）

続いてカトリック教の学校マリスステラ校を訪問し私たちが佐賀から持参しました学用品、文具類を校長のFelix Okabe氏に贈呈いたしました。（オカベ校長からも公式感謝状が届きました。）学校と言ってもバナナの葉で葺いた屋根の南方造りの校舎で生徒数は300名ですが、1914年から30年間の日本統治の実績が現在も尚公式言語は英語ですが日本語もあちこちに残り三郎、タケオと言った名前の人も多く、日系と思われる人々に沢山逢うことが出来ました。

現在、国家財政はアメリカからの拠出金で賄われて居りますが、政治的に独立を果たした後も経済的な自立と言う問題が残されており、その昔日本人が（パラオの松島）と名付けた程の美しい自然環境を有する島々は観光事業開発に大変有望な資源であり、カツオ、マグロ漁業を始め色々の養殖水産業はこれからの、この国を支えていく大きな産業として有望なものと言えます。

ショッピングセンター（バスターミナル）には日本の商品ばかりが並んで居ります。住民の生活は勿論質素につきるでしょう。タロイモ、米が主食の様ですが、農業、漁業に従事し自給率を高め自力発展の原動力として教育の普及向上が何より望まれるところです。すき通る程の南海の碧とサンゴ礁の浜辺に立ち、椰子の木繁る島々に心まで通うような親日的な人々の小さな国パラオ共和国に明日の繁栄を祈り、そしてまた本当の意味のボランティアが私どもの小さな善意ではありましたが、この国の将来に少しでも役立つようこれからも尚努力を続けようと心に銘じ、日系ホテル 東急パラオに1夜の夢を結びました。



平野事務局長
筆者
厚生大臣
大統領
1人おいて
ウエキ
ミノル氏



左より フェリックス、オカベ校長、1人おいて筆者

特集

函館東LC創立35周年記念式典
佐賀葉がくれLC姉妹締結20周年記念式典

函館紀行(2)

L 江頭寛治

市内観光、親善ゴルフコンペを終え、ホテルにて小憩の後全員16:30式典会場の五島軒本店へバスにて移動しました。

この五島軒本店は格式の高さが建物と家具、調度品の数々にその重厚さと年代を偲ばせるものがありました。しかもフランス料理と世界のカレーが売り物のレストランで、函館の町が古くて新しい歴史とロマンを誇る所以でしょう。入場を待つ控室で緊張の中にも厳粛に先輩会員より注意事項を聞き吾が葉がくれライオンズの唄のおさらい(4番の歌詞の確認)を行いました。会場で差し出すドネーションの準備も終わりました。

歓迎のマーチに引き入れられるように入場です。函館東LCの幹部の面々は入場口で拍手で迎えて下さいました。所定の席は晴れがましくも最前列の右側、左側には台北市第一(中央)国際獅子会のお歴々が既に着席、拍手で迎えられました。

17:00 司会、幹事L梶原佑幸の開会宣言で愈々、函館東LC創立35周年式典のメインイベントの開幕です。L梶原佑幸は昨日の歓迎会でもそうでしたが大変な落ち着きと流れる様な弁舌で私は何かその方の職業で鍛えられた経験の持ち主かと思って居りましたが、実は米穀販売店の社長と聞いて又びっくり致しました。

参加人員は、来賓18名、スポンサークラブ31名、姉妹提携クラブ(2クラブ)49名、エクステンションクラブ(4クラブ)66名、準姉妹クラブ(広島イーストLC)4名、地区クラブ(20クラブ)81名、函館東LC89名、合計338名と報告されて居ります。

セレモニーは式次第に則り式辞、祝辞、記念品贈呈、功労者の表彰と続きアクティビティの発表、贈呈そして閉会の言葉、閉会ゴングと滞りなく終了致しました。

引き続き祝賀会に移り北海の珍味をテーブル一杯に盛り上げられ祝杯と歓談が続きます。アトラクションの一番手に台北市第一LC、そして我々の全員が登壇、葉がくれライオンズの唄(葉がくれ節のメロディ)でL本田のリードにより 固い誓いの80人 社会奉仕と友愛に 燃ゆる心は葉がくれの 知性に生きるライオンズ おお葉がくれライオンズと高々と斉唱し満場の拍手喝采を受けました。私が最も感心したのはドネーション1人¥1,000の集め方でした。

二人の当日誕生者を登壇させパントマイム(司会者の説明付き)で1万円のお祝いを現金で渡し、贈られた二人がクラブにドネーションするという寸劇の後、司会者が会場の皆さんこのお二人の誕生祝に¥1,000ずつの御協力と呼びかけ既に配置されたクラブメンバーが素早く各テーブルを廻り集金するという手際のよさと取り方の巧妙さに驚きながら35万円のドネーションを獲得し発表された仕掛けは大変参考になりました。我々の25周年には何か度胆を抜かれて何時の間にか笑いの内に素早く回収する方法を計画せねばと思いました。

アトラクションはマリンバの演奏と、男性カルテット(地元函館のセミプロWAYAはもるず)のハーモニーでした。やや会場が高揚しており何時でもそうですが、この種のアトラクションは余程のものでないと満場一斉と言うわけには行きません。でも見事な演奏でした。

一時間半の祝賀会は、また逢う日までの合唱と友愛の腕輪の中第三副会長L伊藤和弘の閉会のことばで締めくくられました。

バスで宿舎ハーバービューホテルに到着、引き続いてホテルではお別れパーティがセットされており立食ではありましたが夫々クラブよりお礼と再会のスピーチがとびかい明日は別れの和やかなパーティでした。そして来秋（今年11月）又佐賀で会いましょうの合唱のもと全ての行事を終わりました。函館東LCの方々のお一人お一人に大事業を終えた安堵の笑顔の影に一抹の疲労が一度に押し寄せたであろうお姿に私は感謝とお礼の万感を込めてお見送り致しました。

第3日（9/13）

吾々の出発（空港発）は13：15との事で午前中空港迄の時間を利用して、又例のバスでトラピスチヌ修道院見学に向かいました。

この修道院は明治31年の創立だそうでそろそろ100年の歴史を刻んで居り、80名の修道女は俗世と全く交渉をたち、この石堀の中で清貧、貞淑、従順の厳格な戒律のもと、神への賛美と献身の生涯を送り死んでも院内の墓地に葬られ外に出ることはないそうです。

私ら凡人には一寸理解に苦しむ所もありますが爪のアカでも戴いて少し生身の凡欲を清めたい方は礼拝堂の一部を参観する様にバスガイド嬢のスピーチでした。一行から少し遅れてオズオズとドアを開いて中を覗き爪のアカはどこにあるやろか？とキョロキョロ見ている人もおられました。頭の上に日除けのハンカチを被っておられた様でした。

12：20函館空港到着。空港VIP室に案内され軽食サンドイッチとコーヒーのサービスを受け至れり尽くせりとはこの事を言うのでしょうか。そして最後のL萩野会長のお別れの挨拶をうけ10数名の函館東LC会員の皆さんが搭乗ゲート前に並列され見送りを受けた時、「有り難うございました」と3日間の筆舌に尽くし得ぬこの心からのお付き合いに感謝とお礼の言葉が出ません。私は只涙が流れ流れて恥ずかしさもありませんでしたが頭を下げて通るだけでした。

今この原稿を書きながら当日の事が思いあふれ、又筆先がかすむのはやはりこれは老人性涙腺弛緩症（医療百科にこの病名はありません。私の勝手な命名でごめんなさい。）と言うのでしょうか？ 函館の皆さん 有り難うございました。（他に適切な日本語はないものか？）

晴天の高度10,000フィート、JAL594便は西へ向かいます。そして来年の25周年記念事業はきっと成功させる様、皆で知恵と体力を出し合って、このお返しを倍にして差し上げねばと心に固く誓ったものでした。

拙文お目を汚しましたが、最後の2行は同行29名の胸の内に赤々と燃え続け炎となって70名全員のお一人お一人にストレートに引き継がれる事を祈って止みません。 おわり



寄贈の有田焼の花瓶 右は台北第1LCよりの楯



修道院前庭での全員集合

スナップ



函館東LC35周年祝賀会、北海の珍味



ソフトボール決勝大会で、自稱監督代行の
L江頭の指示空し



12月22日 クリスマス家族会
ラッキーカード抽選会!



11月25日 24周年記念例会で
利き酒大会で的中の呑ん兵衛の二人!



1月14日 合同例会の鏡割り
ガバナーL溝口、外ライオンの皆様で!



12月22日 クリスマス家族会で
老醜のオカマL江口とその気になったL深町



次期第3副会長受諾の詞を述べるL徳永
2月10日



1月14日 合同例会司会進行緊張の幹事L柿原

スナップ



2月10日 還暦、厄晴の神事を終え
佐嘉神社前にて



2月19日 佐世保中央L C
30周年記念式典



2月10日 牛島理事長より
感謝状の授与



2月25日 古希を迎えお祝いの品を手に
現役2人と退役1人



3月11日 献血事業(本年3回目)
執行部と委員長L本田



4月24日 第40回地区年次大会弁当部会深町



3月11日 検尿検査結果
不安気なL片瀨



3月26日 家族会、カキヌマサーカス前にて

スナップ



函館 朝市食堂にて朝食



トラピスチヌ修道院前景 (立入禁止)



第40回年次大会でCSF感謝状
受賞のL小池



出席15年皆勤賞受賞のL永淵、L徳永



5月13日 例会にて黄綬褒章受賞の
報告をするL福田

新入会員紹介

氏名 諸岡 泰治
 生年月日 昭和24年5月12日
 勤務先 福岡シティ銀行 佐賀支店
 住所(自宅) 佐賀市鬼丸町18-17
 TEL(勤務先) 26-4141
 TEL(自宅) 23-7693
 入会年月 1994年, 5, 13

趣味 水泳、読書、ゴルフ
 家族 夫人 智子
 長女 美歩 (中学1年)
 長男 尚徳 (小学6年)
 御家族は福岡市在住
 スポンサー L三原己子樹



シティ銀行応接室の
L 諸岡

第24代執行部よりのメッセージ

◇第24代会長を終えるに当り

第24代会長 L南 部 重 平

「我々は知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い平和と自由を守り社会奉仕に精進する」ライオンズの誓いも新に24代会長に就任して一年を終ろうとしています。お陰様にて幹事さん始め執行部のL各位、又会員各位のご協力を得て、何とか無事終了することが出来ました。大変有り難うございました。厚く感謝申し上げます。

伝統あるクラブ故に色々勉強させられることが多々有りました。時代は常に変わりつつあります。温故知新、若い人々の情熱とエネルギーを新しい息吹として活力あるクラブを目指して行かれることを望みます。

大変御世話様になりましたがL各位の益々の御繁栄と御健勝をお祈念申し上げお礼のことばいたします。有り難うございました。

◇第24期のクラブ運営を支えて頂きました会員の皆様に 幹事として感謝とお礼を申し上げます。

第24代幹事 L柿 原 雄一郎

期首の挨拶で述べましたように、浅学非才の身でありながら引き受けた幹事役、私なりに頑張ります。と云う事で、早速、資金獲得のじゃがいも販売を皮ぎりに、姉妹クラブYE青少年訪問団の受け入れ、栄の国バザー開催、ガバナー公式訪問のホスト、函館東LC35周年の式典訪問、一日お父さん、と短期間に息付く暇も無いくらいに多忙な日が続きました。(どの事業も、会員の皆様のご協力により無事終了した事に厚くお礼申し上げます。)

その後も少し余裕が出来るはずだったのに、色々な事が有りまして、何かしら気が休まらない日が続き、1年間は8,760時間何時の年でも変わりはないのに、6月30日を迎える日を此程迄に永く感じた事は近年に無かった事です。なのに、前期幹事よりタスキを交替した最終例会がつい先日の様に感じるのも、又、不思議なものです。

幹事としての仕事の出来具合の評価は、会員の皆様によってそれぞれ違うでしょうが、一番正確に評価出来るのは私自身ではないでしょうか。皆様には解らない失敗も沢山有りましたし、要領よくごまかしたことも有りました。本来なら「ファイン」もの、なのです。私自身の評価点は50点、もう一度幹事をするなら80点以上は取れるでしょう。『間違っても二度と幹事は致しません。』

其の50点の一年間に対して、寛容の精神をもって何の非難もせず、「良う頑張っとなねえ」と声を掛けて頂き、それぞれの事業やクラブ運営にご協力頂きました会員の皆様に衷心より感謝申し上げます。又、次期執行部へより以上のご協力をお願い致しまして、幹事の感想とお礼の言葉と致します。

◇第24代会計を一年間担当して

第24代会計 L徳永 晃

佐賀葉がくれライオンズ第24代の会計を一年間担当いたしました。会員皆様の協力があって無事一年が終了しようとしております。どうも有り難うございました。執行部三役あるいは六役の中では一番負担の少ない役かもしれませんが。皆様から預った会費を事務局で保管し、あとは計画に応じて適切に支払いがなされているかどうかの単なる守り番みたいなもので、しかも事務局には女性のベテラン由美子嬢が居て、私自身の仕事あるいは技術等殆ど無であってもその責任は充分果たせるとの存在でした。只年に三回のZCの諮問があり、内容だけを確認出来ていれば難しい事は無かったようです。昨年の五月頃から年度初めのスタート前にクラブ内で新しい事業計画等があれば予算編成に多少の苦労があったり、その事業に対しての反省すべき点が充分なされたりも起こり得るでしょう。兎に角この一年はお陰様でしたと皆様に報告しお礼の言葉を申し述べたいと思います。

◇計画委員長を終えるにあたって

第24代計画委員長 L石井 巽

佐賀葉がくれLC入会以来約4年半になります。その間出席委員長、社会福祉委員長、そして今年計画委員長をおおせつかり第24代例会も早いもので余すところあと1回となりました。

顧みますと出席委員長は何もわからないまま引き受け（どなたかのピンチヒッターだったらしい）その時不思議でならなかったことがあった。それは70名近い会員のうち10名近くの方が出席か欠席か返事が来ていないときもあり、執行部の方は大変だろうなあと思いながら出席率を「第何回例会出席何パーセントでした」と報告していた訳である。

ところが昨年、南部会長、柿原幹事より「執行部でなんでん考え全部ですっけん、おるだけでよかけん」ということで快く？ 計画委員長を引き受けた（あとで聞くとところによるとこれもどなたかのピンチヒッターだったらしい）。そして幹事から計画委員長の職責という冊子を頂いた。それによると「計画委員長はクラブの監督のようなもので例会ごとによく計画されたプログラムを提案すること云々」とある。幹事の次に忙しい仕事ではないかシマッターと思っても後の祭り、所謂六役の一員になる羽目になってしまった。

話は前に戻るが今回も例会ごとの出欠か出席か欠席か返事がないLがいらっしゃる。南部会長のクラブ運営の方針に「全員出席で楽しい例会」とあるのに、まず弁当が余ったり足りなかったり何と無駄の多いことが、金銭の額ではなく基本ではなかろうか。

いろいろと「グゼごと」を言いましたが何はともあれ年初から事業が多かった年だったようにも思う。

島原支援ジャガイモ、に始まり、YE少年訪問団受け入れ、納涼栄の国祭りバザー、献血（3回）一日お父さん、函館LC35周年、姉妹締結20周年式典参加、ガバナー公式訪問ホスト、クリスマス家族会、春の家族会ではカキヌマサーカス、24周年記念例会では佐賀大学の杉谷先生による記念講演等々、皆さんのご協力によりまがりなりにもここまでやってこれたと思う。

しかし、南部会長スローガン「感謝の心で豊かな奉仕を」できたか自分では疑問をもちながら終えようとしている。最後に会員皆さん方のご協力を感謝致します。

編集後記

顧みて1年。まず最初に会報誌の発行について、年4回とお約束申し上げましたが私の不徳の致すところ、遂に3回で終わる事となりました。深くお詫びを申し上げます。会報誌の作成だけがPR委員会の仕事ではないぞ、と研修会で叩き込まれた事を余りにも重大に考え過ぎた結果（これは言い訳）、あれや、これやと頭と体をツツ込み過ぎて此の始末。こんな委員長では皆様にご迷惑を掛けるばかりで反省は私なりに充分してはおりますが、何しろ既によわい古希。性格と共に死なにゃ直らんと自分でも思っています。

それにしても、何と1年の忙しかったことか！

只私なりに振り返りますとPR委員長をお受けした時早速ワープロを仕入れて練習に練習を重ね、当時朝から晩まで手引書片手ですから眼が左右に激しく動きます。すると翌日は頭痛で可愛い老妻も亦心配の余り寝込む始末でございました。（オーバーは私のくせ）「老化防止には丁度よかよ」と話を聞いた無責任男も居りましたが、それでも手紙等が多少打てる様になったのはプラス面の最たるものでしょう。

ライオンズニュースは例会に出たくても出席出来ない幾人かの方々にクラブの動きを多少とも知って戴きたいと考え、その主旨で発行を思い立ったのが動機でした。何人かのライオンズレディの方々から面白かねえ楽しみに待とっとよおと言われまして又私の事ですから、調子に乗ってガキ文を綴る様になり段々とエスカレートして丁度良いところで期末を迎えバトンタッチとなりました。ホッとして居ります。皆さん、決して意識しての事ではございません。槍玉にあげようと思って書いたわけでもございません。そうは言ってもやはり文章というものはイメージが浮かんだ所で字が進むわけですから、事案によっては特定の人物の顔を心に描いて書いている事は事実でございます。（一部より筆の暴力は止めろと叩かれもしました。）年寄りに免じてお許し下さい。（良い言葉があるじゃありませんか、昔の人はエラかった。）

併かし何とこの1年色々ありました。筆に書けない諸々の事柄は葉がくれライオンズのの之からの百年に歴史として残るであろう問題も別のカタチで後世に残す必要を痛感しております。また逢う日まで

ご愛読を心から深謝申し上げ擱筆致します。

ありがとうございました。

平成六年六月

PR委員長 L江頭寛治

PR委員長 L江頭寛治
PR副委員長 L古賀正裕
PR委員 L末次正治

発行日 平成6年6月17日
編集 PR委員会
発行 佐賀葉がくれライオンズクラブ
〒840佐賀市松原町商工会館内
TEL 0952-26-6198
印刷 古賀印刷
佐賀郡川副町 TEL45-0129

